

オディリア通信

あいあい

冬号(No.92)

R6年2月10日

社会福祉法人 聖オディリアホーム乳児院
〒165-0031 東京都中野区上鷲宮 5-28-28
TEL (03)5971-8071 FAX (03)5971-8073
Eメール odilia@guitar.ocn.ne.jp
ホームページ <http://odilia.jp>

基本理念 「愛をもって、愛を育てる」

能登半島地震で被災された皆様にご心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興と、被災された地域の皆様が、元の生活に戻ることが出来ますように、心よりお祈り申し上げます。

2月に入り、寒さが厳しい日もありますが、乳児院には子どもたちの遊ぶ声が響いています。新型コロナウイルスの感染予防対策は完全に緩めることはできません。それでも少しずつ隣の部屋の子どもも同士でも遊んだり、手遊びやわらわ歌のボランティアの方に来ていただいたときに、各部屋合同で参加したりと交流を広げています。

令和4年に改正された児童福祉法は、令和6年4月から施行となります。今まで足りなかった子どもたちの声を聴くことがより求められるようになってきます。

乳児院では、月齢的にも言葉は話せない子どもたちが大多数です。それでも、表情や目線、仕草から子どもたちは、たくさんそのことを伝えてくれます。私たちはそのことに気づき、子どもたちの安全基地になれるよう一層の努力を続けていきます。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

(施設長 鎌倉道子)



	月	月	月
身長	cm	cm	cm
体重	g	g	g

***大型遊具**

滑り台や階段、トンネル等がつながった大きな遊具があります。また、写真右側のスペースはかくれんぼをしている子どもも多く、「〇〇ちゃんいない」と保育者が声を掛けると「おーい」と顔を出して手を振っています。



***コンビカー**

アンパンマンや赤と青のスポーツカーのコンビカーが9台置いてあり、車やアンパンマンが好きな子ども達が乗って走り回って遊んでいます。また、ボタンを押すと音楽が鳴る機能が付いており、音楽が鳴ると、身体を左右に揺らしたり、「アンパンマン」と保育者に伝えています。



(看護師 橋本)

親子宿泊体験室（アグネス室）紹介

保護者と子ども、里親と子どもで過ごす為のお部屋です。このお部屋にはご家庭での生活がイメージしやすいよう、キッチンやお風呂、トイレ等が設置してあります。

***食事・お風呂スペース**



***玩具**

アグネス室の中には、おままごとや楽器の玩具、カートやコンビカーの玩具等が置いてあります。お部屋にはない玩具も多く、子ども達はアグネス室に入るとすぐに玩具を出して自由に遊び始めています。

(看護師 橋本)



クリスマス

12月になると、クリスマスツリーやサンタクロースの飾り付けがされます。「どこに飾ろうか」「ここがいいかな」と一緒に飾り付けを楽しみました。当日までは「もうすぐサンタさん来るかな」「プレゼントは何だろう」と楽しみにしている姿が沢山見られました。

クリスマスイブの24日には高月齡児がクリスマスクッキー作りを行いました。調理員さんに教えてもらいながら、生地を伸ばして、ツリーやハート、クマなど様々な形の型で型抜きをします。調理員さんに焼いてもらうと、とってもいい匂いがします。できあがったクッキーを24日のおやつにみんなで食べました。



「○○ちゃんが作ったクッキーだよ」「お星さまだね」「ウサギさん、可愛い」と作ったことを思い出しながら、また、クリスマス気分を味わいながらおいしくいただきました。

25日は待ちに待ったクリスマス当日です。サンタクロースが白い大きな袋にプレゼントを持ってお部屋に登場するよ、

「サンタさんだ」と喜び見もいれば、「かわいいの」と泣きそうになっている見もありました。涙を溜めながらプレゼントを受け取った見もプレゼントを開けると、満面の笑みを見せ、夢中になっておもちゃで遊んでいました。昼食はバイキング形式のスペシャルメニュー。パンやおにぎり、ハンバーグなど好きな物を自分で選んで、また沢山おかわりをして食べていました。プレゼントにバイキングにおやつ、クリスマスケーキとクリスマスMASを存分に楽しむことができました。

(保育士 納見)



遊戯室紹介

聖オディリアホーム乳児院の2階には、大きな遊戯室があり、雨の日でも室内で思い切り身体を動かして遊べるスペースになっています。



*マットスペース

敷マットのスペースでは、子どもたちが座っておままごとを楽しんだり、大きなマットを使ってトンネルや坂道を作りその上を転がって遊んでいます。また、アンパンマンの大きなボールが置いてあり、子どもたちは投げたり、上に乗って両手を広げ飛行機の様にして遊んでいます。



作業療法士より

ひとは生まれてから一年くらいで歩くようになりませんが、『歩行』が確立するのは6歳くらいと言われています。歩けるようになっても五年くらいはしっかりと運動をしないと歩くのが上手にならないということの意味しています。

最近の子どもたちの歩き方は、

- ・ 足底を持ち上げずに擦って歩く
- ・ 内またぎみにベタベタ歩く
- ・ いつも小走りで移動する
- ・ 物を踏んでも気にせず歩く

などが認められ、どの歩き方も転びやすく、疲れやすいという特徴があります。これらの歩き方は、体幹の筋肉がうまく使えていないことに起因しています。

ひとの骨は成長とともに自動的に伸長しますが、その骨に付着している筋肉は自分から身体を動かさないと筋力は上がりません。そのため、いつも抱っこやベビーカーで運んでもらっていると身体が大きくなって重くなっていったらその身体を支える筋力が追い付きません。また、動きかたも未熟なため、うまく運動できず余計に運動嫌いになります。

そうならないためには歩くことが出来るようになったらたくさん歩くことが、大事です。

歩くことはいちばん手取り早くて確実な全身運動です。落ち着きなく立って動きまわっているのは運動とは言えません。まずは大人と手をつないで歩けるといいですが、さらに効率が良いのが階段昇降です。股関節（足の付け根）周囲の筋肉は体幹に直接つながっているのです。階段を歩くだけでもいい運動になります。また階段と坂道共通ですが、下りはゆっくり、上りは速く歩くようにするとより効果的です。公園の遊具も積極的に活用するといいいでしょう。

近年の夏は暑すぎて外に出られないので、冬でも天気の良い日には外に出て、おひさまにあたって身体を動かして遊んでください。

（作業療法士 萩之内）



今後の行事

- 2月 節分
- 3月 ひなまつり
- 4月 イースター
- 5月 こどもの日



お知らせ

聖オテリリアホーム乳児院のホームページがあります。合わせてご覧下さい。

<http://odilia.jp>

☆編集 後記☆

寒さが一段と身に染みるこの季節。子どもたちは寒さに負けず散歩や院庭で元気に遊んでいます。

まだまだ感染症に気が抜けない日々が続きますが、しっかりと予防を行い元気に過ごしていきたいと思います。

（看護師 橋本）